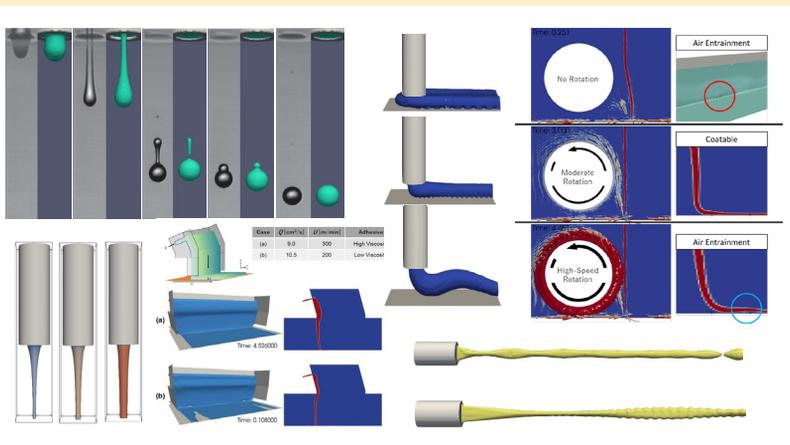


グラフィカルな表現法による複雑現象の理解

連続セミナー 第18回

科学技術に関するコミュニケーションにおいて、グラフィクスは非常に強力なツールの一つです。グラフィクスは、文字や数字だけでは表現が難しい知識や概念の理解を容易にするものであり、さまざまな分野において複雑な現象を理解するために欠くことのできないものとなっています。グラフィクスリテラシー教育研究センターでは、勉強会「グラフィカルな表現法による複雑現象の理解」を立ち上げ、定期的にセミナーを開催し、社会の中に散在する複雑現象の理解に対するグラフィクスの有効性について議論をしています。第18回セミナーでは、埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門の本間俊司先生にご登壇いただき、コンピューターで観る液滴、液柱、液膜の運動についてお話していただきます。



1. 日時 : 2024年3月29日(金) 17:30 ~ 19:00
2. 講演 : コンピューターで観る液滴、液柱、液膜の運動
3. 講演者 : 本間俊司先生 (埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門)
4. 参加費 : 無料
5. 実施形態 : 対面(神戸大学六甲台第2キャンパス)+遠隔のハイブリッド
(参加方法は登録頂いた方にお知らせいたします)

登録方法 : 右の参加登録ページへのリンクもしくは
QRコードから申し込み下さい。

問い合わせ先 : eng-glec@research.kobe-u.ac.jp

[参加登録ページ
へのリンク](#)



主催 : 神戸大学大学院工学研究科 グラフィックスリテラシー教育研究センター
共催 : (公社)化学工学会 SIS部会 ダイナミックプロセス応用分科会
日本図学会 関西支部
神戸大学 V.School